

# 第一学科 1 学年フィジカルアセスメント演習を行いました

吸引器の使用目的は、加齢による体力の低下や病気のため自力でたんや唾液などの分泌物を吐き出せない方の手助けをして体外へ出すことです。安全かつ患者さんの苦痛に配慮した的確な吸引技術の修得に向けた演習になります。

頻度の高い経口または経鼻での吸引、患者さんに負担をかけずにスムーズな処置が行えるよう、複雑な内部構造を理解でき、舌、喉頭蓋、気管、食道などを視覚的に把握できます。

当校では看護基礎教育において生体に限りなく近い教育用モデルを実際に見て体験をし、確かな知識と技術を身につけていきます。

